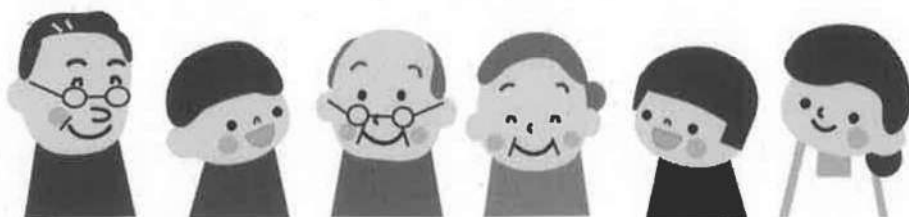


## 豪雨災害に備えましょう

先日、真冬にもかかわらず台風のような大雨がありました。幸い、何事もなく雨は収まりましたが、現在は、一年中、豪雨災害のリスクがあるといえます。風水害から身を守るための心掛けをご紹介します。

(国土交通省ホームページより)



### 【日ごろの備え】

- 避難場所、避難経路を確認
- 非常持ち出し品の点検
- 過去に起きた水害や土砂災害被害の有無を確認

まず大切なことは、日ごろの備えです。ハザードマップを見て頂き、「どこが避難場所なのか」や「どの道が避難経路なのか」を確認し、「非常持ち出し品」の点検をしておくことが大切です。

### 【防災気象情報で早めの対策】

- 最新の気象情報をチェック
- 大雨警報や洪水警報が発表されたら避難準備

自分で適切な判断ができるように、防災気象情報は積極的に収集しましょう。テレビやラジオのほか、天気予報サービス（177 番）、気象庁のホームページなどでも最新の情報が確認できます。

### 【避難は状況に即して判断・行動】

- 危険が迫る前に早めに避難
- 浸水の中の避難は非常に危険
- 水深がひざ上の場合など無理に避難するよりも、2階など高いところにとどまる方が安全な場合もある

何よりも、周辺の状況にも注意して、自主的な早めの避難を心がけましょう。やむを得ず浸水の中を避難する場合は、必ず靴を履き（サンダル、長靴は避ける）、長い棒で水の中の側溝や蓋のあいたマンホールの穴、障害物などを確認しながら逃げましょう。

また、自宅の二階や、その場に留まるような行動も有効である場合もありますので、状況に応じた適切な判断をすることが重要です。

### ～13 地区社協より～

13 地区社協では、来年度から組織を見直し、会費や活動内容を変更しました。様々なご意見はあると思いますが、運営する役員が不足し活動が困難なため、変更に至りました。

ご理解とご協力をお願いします。